

建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応調書

資料2

地区名：国分寺

| 地区名 | 項目番号 | 項目 | 事業の内容 (地域審議会からの意見等) | 担当部局 | 担当課 | 前回までの対応 | 担当課 | 今後の対応 |
|-------|------|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国分寺地区 | 1 | 国分寺地区における文化施設の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 実施設計が策定される前段において、客席の設置・収納方法、周辺整備、国分寺会館との接続など整備概要について、当審議会に説明をお願いしたい。 また、施設等の使用料設定に当たっての基本的な考えをお聞きしたい。 | 市民政策部 | 国際文化振興課 | <p>国分寺地区文化施設整備については、本年度、基本設計、実施設計を行うこととしています。現在、基本設計中ですが、客席や周辺整備の概要については、その案がまとまった段階で、御説明したいと考えています。 また、施設等の使用料設定については、施設整備内容や近隣の類似施設の料金を勘案し、今後検討してまいります。</p> | 国際文化振興課 | <p>国分寺地区を始めとする本市西部地域における文化活動の拠点とするため、事業名を高松西部地域文化施設整備事業としております。同施設整備については、21年度に基本設計・実施設計を行うこととしておりましたが、設計内容の検討に日時を要したことから、事業費を本年度に繰り越して、引き続き、基本設計、実施設計を行っております。現在、基本設計中ですが、客席や周辺整備の概要については、その案がまとまった段階で、御説明したいと考えています。 また、施設等の使用料設定については、施設整備内容や近隣の類似施設の料金を勘案し、今後検討してまいります。</p> |
| 国分寺地区 | 2 | J R 端岡駅周辺整備事業 | <ul style="list-style-type: none"> 事業の推進 現在、平成21年度の道路等実施設計に向けて、取り組んでいただいておりますが、今後は、早急に、地元住民・利用者・関係者が協議を行う機関を設置し、具体的な調整に取り組んでいただきたい。 | 都市整備部 | 都市計画課 | <p>本市では、本年7月に地元関係者が設立したJ R 端岡駅周辺整備検討協議会を支援していくため、アドバイザーの派遣や関係資料の提供を行っているほか、駅利用者へのアンケート調査を行うなど、具体的な基本プランの策定に取り組んでいるところでございます。</p> | 都市計画課 | <p>本市では、昨年7月に、地元関係者により設立されたJ R 端岡駅周辺整備検討協議会に対し、アドバイザー派遣による指導や助言などの支援を行いながら、駅前広場やアクセス道路の考え方など、延べ6回にわたる協議・調整を行い、このたび、協議会において、端岡駅周辺整備計画(案)が取りまとめられたところであります。 今後、この協議会と連携し、整備計画(案)について、地域住民説明等を行い、地元の御意見も踏まえつつ、J R とも協議し、道路等の基本設計等を進めていきたいと考えております。</p> |
| 国分寺地区 | 3 | C A T V の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 整備の充実 今秋のサービス開始に向けて、整備を進めていただいておりますが、エリア外の整備についても、地域間格差解消に向け、早急に整備基準等を調整し、22年度以降のエリア拡大に向けた取組をお願いしたい。 | 総務部 | 情報政策課 | <p>ケーブルテレビ網の整備につきましては、現在、塩江地区を除く合併地区の約80%の世帯において、ケーブルテレビや光インターネットサービスなどが受けられるよう整備を進めているところであります。 平成22年度以降における整備につきましては、旧高松市域における未整備地区への整備も含め、事業主体の(株)ケーブルメディア四国と本市との間で、整備に必要な加入世帯割合や本市としての支援策などについて調整中であり、今年度中に整備基準を策定したいと考えております。</p> | 情報政策課 | <p>ケーブルテレビ網の整備につきましては、現在、塩江地区を除く合併地区の約80%の世帯において、ケーブルテレビや光インターネットサービスなどが受けられるよう整備を進めたところであります。 今後の整備につきましては、旧高松市域も含む未整備地区について、今後3年間程度で世帯カバー率95%を目指す(毎年度5%増)こととし、加入予測者数も把握する中、加入希望者の多いエリアから、事業主体である(株)ケーブルメディア四国との協議も踏まえ、限定的に整備を進めていきたいと考えております。</p> |
| 国分寺地区 | 4 | 公共交通の整備 | <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの存続 利用状況は、依然厳しい状況であるが、高齢者や子ども・弱者にとっては必要な交通手段であり、今後も、利用促進協議会と連携を図り、バスの小型化・路線の開拓(施設めぐり路線)など利用率向上に向け、改善策に取り組んでいただきたい。 | 市民政策部 | 交通政策課 | <p>国分寺町コミュニティバスについては、直近では平成21年9月1日付けで、路線変更や便数調整の運行計画の見直しを行うなど、収支の改善に努めておりますが、今後、さらなる利用促進に向けた施策について、地元関係者組織との連携を図りながら検討していきたいと考えています。</p> | 交通政策課 | <p>国分寺町コミュニティバスについては、各年度において、市と運行協定を結んだ事業者により、運行しておりますが、本年3月2日に、あさひ交通(株)から、「H22年度からの運行には応じられない」旨の申し出がありました。 その後、関係者と協議・調整した結果、6月末日まで、あさひ交通(株)により、7月1日から、マルイ観光バス(株)によって、継続運行することで、現在、運輸支局に運行認可手続きを行っているところです。 このことで、委員の皆様方にも御心配をおかけしたことと存じますが、継続運行の道筋がついたことを報告いたします。</p> |
| 国分寺地区 | 5 | 市道の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 市道南部中央線道路改良(学校橋～片山商店前)について この件については、先般の審議会において、今後の取組について概要説明をいただいたわけですが、この路線は主要通学路であり、交通渋滞がひどく危険箇所という状況下にあるため、早急に、道路の拡幅・歩道の整備等の通学路安全対策・交通渋滞緩和対策に取り組んでいただきたい。 | 都市整備部 | 道路課 | <p>この路線につきましては、現在、測量調査に取り組んでおり、今後とも、地域審議会の御意見をいただきながら、検討してまいります。</p> | 道路課 | <p>この路線については、昨年度に測量調査を行い、これに基づき、今年度、地元説明会を開催することとしており、地権者等地元関係者の協力が得られれば、基本設計を行う予定であり、今後とも地域審議会の御意見をいただきながら、その整備に努めていきたいと考えています。</p> |
| 国分寺地区 | 6 | 地域間交流事業の助成 | <ul style="list-style-type: none"> 事業の継続 国分寺地区の文化と歴史的環境を生かし、観光及び産業の振興を図るため、他の地域との友好・親善交流活動を積極的に行っておりますが、特に、将来の夢を託した児童・生徒の相互交流について継続的に取り組んでいくために、積極的な支援及び援助を要望します。 | 市民政策部 | 国際文化振興課都市交流室 | <p>高松市国分寺地域と下野国分寺地域とは活発な交流事業が継続されていることから、21年4月に「讃岐国分寺・下野国分寺親善友好交流事業補助金交付要綱」を制定し、交流の促進を図るための30万円の補助金を交付しており、今後とも支援を継続していきたいと存じます。</p> | 国際文化振興課都市交流室 | <p>前回までの対応と同じ</p> |

建設計画に係る平成22年度から24年度までの実施事業に関する意見に対する対応調書

資料2

地区名：国分寺

| 地区名 | 項目番号 | 項目 | 事業の内容 (地域審議会からの意見等) | 担当部局 | 担当課 | 前回までの対応 | 担当課 | 今後の対応 |
|-------|------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国分寺地区 | 7 | コミュニティ活動の支援 | <ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティ活動拠点の充実整備 平成22年度から、国分寺南・北公民館がコミュニティセンターに移行の予定であるが、今後、地元コミュニティ協議会と協議を実施するなど、納得のいく状態でセンター化をお願いしたい。 また、国分寺南・北公民館においては、施設の老朽化が進んでいるため、センター移行後の管理に支障が出ないように、耐震工事等万全の施設整備をお願いしたい。 | 市民政策部 | 地域政策課 | <p>国分寺南・北公民館のコミュニティセンター化については、平成22年4月を予定しており、各校区のコミュニティ協議会に指定管理をお願いすることになるため、今後、各協議会と十分な協議を進めてまいりたいと存じます。</p> <p>国分寺南・北公民館の施設整備については、建物の耐震度や耐久度、設備の老朽度や残存年数等を総合的に勘案したコミュニティセンター中期整備指針(案)を策定中であり、この計画に基づき、数年内に耐震補強および所要の修繕工事等を実施していきます。</p> | 地域政策課 | <p>国分寺南・北公民館については、平成22年4月にコミュニティセンター化を行ったところです。</p> <p>今後のコミュニティセンターの施設整備については、建物の耐震度や耐久度、設備の老朽度や残存年数等を総合的に勘案し、平成22年2月にコミュニティセンター中期整備指針を策定したところであり、国分寺南部・北部コミュニティセンターについても、同指針に基づく計画により、数年内に耐震補強および所要の修繕工事等を実施する予定です。</p> |
| 国分寺地区 | 8 | 自然環境の保全と活用 | <ul style="list-style-type: none"> ● 森林・里山の保全と活用 国分寺地区は、自然と共生したすばらしい生活環境であるが、里山の荒廃・森林化が進んでいる。また、河川・ため池等が生かされず、放置された状態にあります。 里山の保全管理や、ほたるの生息可能な河川整備などを進めるため、住民参加団体の育成・組織化を促し、市民が自然に親しめる森林・里山づくり、ほたるの飛び交う河川の美化と優れた水環境の保全に努めていただきたい。 | 産業経済部 | 農林水産課 | <p>森林は、木材の供給をはじめ、水源涵養、土砂災害防止などの多面的・重要な役割を果たしており、水事情が厳しい本市では、豊かな自然環境および水源地域の森林保全を図ることは、重要と考えています。その中で、里山の保全につきましては、本年度より堂山を含む市内8箇所の里山において、地元のボランティア団体による自主的な整備・保全活動に対して活動支援事業を開始したところでございます。今後、地域での活動事例を広く市民に紹介し、活動の参加を呼びかけ、各地域における自然環境の保全を推進していきたいと考えております。</p> | 農林水産課 | 前回までの対応と同じ |
| 国分寺地区 | 9 | 学校施設の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ● 国分寺中学校のプール施設改修 中学校のプールは、かなり、老朽化しており、授業に支障が生じている。 水泳は、部活動においても、体力強化としての役割を果たすことから、是非、プール改修について検討していただきたい。 | 教育部 | 総務課 | <p>現在、平成19年2月策定の「高松市小・中学校施設耐震化実施計画」に基づき、耐震化を最優先で取り組んでおり、国分寺中学校のプール改修については、老朽度、緊急度等を勘案しながら、適切に対応してまいりたいと考えております。</p> | 総務課 | 前回までの対応と同じ |
| 国分寺地区 | 10 | 防災行政無線の存続 | <ul style="list-style-type: none"> ● 現在行われている個別受信機による防災行政無線については、導入主旨を踏まえ、引き続き存続できるよう、検討していただきたい。 | 総務部 | 危機管理課 | <p>防災行政無線は、合併地区のうち塩江地区を除く5地区が災害時の緊急放送や一般放送に使用しております。</p> <p>しかしながら、防災行政無線は、1市1波の原則があり周波数を統一する必要があることや総務省からの指導でデジタル式の通信しか認めないことから、旧高松地域で平成18・19年度に整備した屋外スピーカーで災害情報を伝達するデジタル式防災行政無線と同様に順次整備していく予定としております。</p> <p>このようなことから、現在設置している戸別受信機の更新は現在のところ考えておりません。新たな防災行政無線を整備する5・6年後までは現在の防災行政無線を活用して、これまで同様一般放送を行えるものと考えております。</p> <p>また、デジタル式防災行政無線移行後は、「広報たかまつ」、本市のホームページ、ケーブルテレビを始め、各コミュニティ協議会の広報紙等の媒体を通じて、きめ細かい情報発信に努めてまいりたいと存じます。</p> | 危機管理課 | 前回までの対応と同じ |